

大会運営にあたっての感染防止対策

- ・ここに示した感染防止対策は 10月23日現在のものです。感染の収束または拡大により対策が変わることが考えられます。その場合は各団体に速やかにご連絡いたしますので最新の対策でご対応ください。
- ・全日本合唱連盟より提示された合唱活動時の新型コロナウイルス感染防止対策をお読みください。

以下の項目に当てはまる方は大会への参加をご遠慮ください

- ・体調がよくない場合（発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に入国制限、入国後の要観察期間地域への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある

◎大会が中止される場合

- ・山梨県内で感染拡大が確認され県から緊急事態宣言またはそれに類する宣言が出された場合

◎各団体における参加前の感染防止対策

①名簿の管理

- ・各団体で参加者の氏名、住所、連絡のとれる電話番号を記載した名簿を作成してください。
- ・全日本合唱連盟の「合唱活動における新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドライン」、山梨県合唱連盟の「大会運営にあたっての感染防止対策」を読み、団体代表者に参加承諾書を提出してください。

②体調の管理（大会14日前までの次の項目についての一覧表を作り記録をお願いします）

- ・体温（平熱を超える発熱：おおむね37.5℃以上）
- ・咳、のどの痛みなどの風邪の症状がなかったか
- ・だるさ、息苦しさがなかったか
- ・嗅覚や味覚の異常がなかったか
- ・体が重い、疲れやすいなどの症状がなかったか

③練習時の対策

- ・マスクを着用し、咳エチケットを実践しましょう。
- ・換気を行いましょう。
- ・事前事後の手洗いをしましょう。
- ・楽譜、鍵盤楽器などの共用は避けましょう。
- ・使用した机、椅子などの備品の消毒をしましょう。（ピアノは専用のクリーナーを使用）
- ・団員の距離は前後2m以上、左右1m以上を確保し、会話はなるべく控えましょう。
- ・指導者、伴奏者と団員との距離は、適切な距離を確保しましょう。
- ・座っている団員と立っている団員が混在しないようにしましょう。
- ・マスクは飛沫拡散防止の効果があるため、着用を推奨します。
- ・身体的な接触をしないようにしましょう。
- ・連続した練習時間は30分以内とし、5分以上の換気を行いましょう。

◎各団体における参加当日の感染防止対策

- ・会場への移動は、各団体で責任をもって集団感染のリスク（3密の条件）を避けましょう。
- ・感染防止のため一般の観客、保護者等の入場はできません。
- ・演奏時以外はマスクを着用し、咳エチケットを実践しましょう。
- ・団体ごとに除菌用のスプレー・タオルを用意し、使用物品や接触場所を消毒してください。
- ・マスク、フェイスシールドを着用しての演奏も可とします。

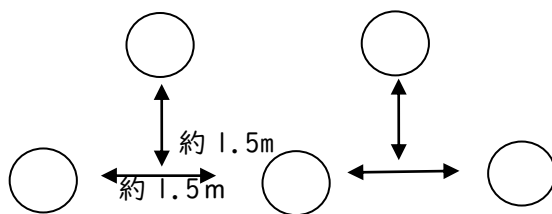
◎大会運営上の合唱連盟の対策

①出演者・運営担当者について

- ・本大会は出演者と必要最小限の運営担当者のみで行います。
- ・入場時は手指消毒をお願いいたします。
- ・出演団体は出演者（引率者）の氏名、住所、連絡のとれる電話番号、当日の体温を記載した名簿を受付で提出していただきます。（抽選説明会で配布）
- ・感染防止のため、ホール内は演奏者と審査員、係員、また観覧は部門出演者のみとします。
- ・部門ごとの観覧者入れ替えを行います。また座席は指定席とします。
- ・受付での配布物は必要最小限のプログラムのみとします。
- ・受付での金銭の授受は致しません。参加料は事前に振り込んでください。
- ・運営担当者の検温、手指消毒を行います。

②ステージの設営等の配慮

- ・山台は幅6間（10.8m）を2段、上段の奥行きは1.8m、下段の奥行きは1.2mで、設置予定です。
- 並ぶ間隔は前後左右約1.5mを目安とし、前後の列は重ならないようにしてください。
- 当日はステージに立ち位置をマークします。マークより狭い間隔では並ばないでください。
- ・ステージの転換は演奏団体退出後1分程度経過した後行います。



③リハーサル時の対策

- ・参加団体のリハーサルは安全な間隔をあけて行います。
- ・リハーサル終了後、すべてのドアを開放します。次の団体が閉めて使用してください。

④更衣

- ・更衣室を準備する予定です。マスク着用の上、密を避けて譲り合って使用してください。

⑤その他

- ・感染の危険が高い飲食は館内では禁止とします。